

煌

第48号

発行◆令和6年1月

公益社団法人 向日市シルバー人材センター

〒617-0006 京都府向日市上植野町南開66-1 TEL.075-932-3987 FAX.075-934-8600

URL: <http://muko-sjc.com/> e-mail: muko@sjc.ne.jp



令和5年11月23日 会員研修親睦旅行 愛知県知多半島にて



絵：寺戸町 中島 清和

ごあいさつ

理事長 嶋田善久



新年明けましておめでとうござい
ます。

会員の皆様方には、令和6年の初春
をご家族ともどもお健やかに迎えるの
こととお慶び申し上げます。

発生から4年近く経った新型コロナウ
イルスの感染は、これまで拡大、縮
小を繰り返しながら、ようやく落ち着
きを見せ、社会経済活動もコロナ前
の水準に戻ってきました。

当センターでも、契約額、就業率と
もゆるやかに回復しており、コロナ前
を上回る水準で推移しております。

昨年の定時総会は、新しくオーブン
しました永守重信市民会館ホールで、
会員の皆様に参加いただき開催いたし
ました。各種セミナーや講習会もコロ
ナ前と同様の規模で実施することがで
きました。

この4年間、コロナ禍の大変厳しい
状況下で、感染防止に努めながらも事
業を継続できたのは、会員の皆様のご

協力のおかげであると感謝申し上げます。

さて、我が国においては、人口減少、
少子高齢化が進展し、人生百年時代を
迎えた今、誰もが生涯現役で活躍でき
る社会の実現が求められています。

このような中で、当センターにおき
ましても、高齢者宅での日常生活支援、
留守家庭児童会の担い手などの子育て
支援、また、人手不足の地元企業への
シルバー派遣など、市の施策や地域ニ
ーズに対応した事業に積極的に取り組
んでいるところであります。

一方、昨年10月からは消費税におけ
るインボイス制度が施行され、センタ
ーに新たな税負担が増え事業運営に大
きな影響を及ぼすことから、今後さら
に厳しい経営状況が予想されており、
一層の経営努力が求められております。

このほか、喫緊の課題である会員の
拡大につきましても、現在、全国的に
取り組んでいる「会員百万人計画」に
基づき、新規会員、特に女性会員の拡
大を目指して、様々な広報・啓発活動
を展開するとともに、魅力あるセンタ
ーづくりを推進するため、役員一丸
となつて努力してまいる所存でござい
ます。

結びにあたり、新しい年が皆様方に
とりまして素晴らしい一年となります
よう心からお祈り申し上げ新年のごあ
いさつといたします。

新年のご挨拶

向日市長 安田 舟



あけましておめでとうございま
す。

公益社団法人向日市シルバー人
材センターの皆さまにおかれまし
ては、2024年の清々しい新春
を健やかに迎えることと、心か
らお慶び申し上げます。

また、会員の皆さまにおかれま
しては、日頃から高齢者の社会参
加や生きがいの充実はもとより、
様々な分野で地域社会の担い手と
して活躍いただいておりますこと
と深く敬意を表します。

さて、昨年5月に、新型コロナウ
イルスの感染症法上での位置付
けが2類から5類に変更となった
ことを契機に、様々な活動が再開
され、皆さまの生活環境や活動状
況にも大きな変化があったものと
存じます。

本市におきましては、健康増進
センターのリニューアルオープン

や永守重信様からご寄附いただい
た市民会館の開館、森本東部ふれ
あい公園と森本東部どんぐり公園
の開園など、市民の皆さまが交流
できる集いの場を新たに整備し、
これまで以上に活動いただきやす
い環境を整えることができた一年
でありました。

そして本年は、引き続き、JR
向日町駅東口開設推進事業や、森
本東部地区及び阪急洛西口駅西地
区における新たなまちづくりなど
の都市基盤整備を進め、将来にわ
たつて向日市が持続可能なまちと
なるための礎を築いてまいりたい
と存じます。

また、こうした都市基盤整備だ
けでなく、ゼロカーボンシテイ宣
言に基づく気候変動対策をはじめ、
高齢者や子育て支援、防災・防犯
の強化、教育の充実など、各施策
についても力強く取組みを進め、
本市の更なる発展を図ってまいり
たいと存じますので、引き続きご
支援とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

結びにあたり、貴センターのま
ますのご発展と、本年が会員の
皆様にとって、希望に満ちた素晴
らしい年となりますよう祈念いた
しまして、新年のご挨拶とさせて
いただきます。

シルバー人材センター普及啓発活動

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取り組みの一環として、ボランティア清掃を行いました。これは、シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く市民の皆様や関係機関等に理解していただくとともに、高齢者のセンターへの加入の働きかけ及び就業拡大を目的に、毎年この時期に全国的に普及啓発活動を行っているものです。

ボランティア清掃は、11月26日(日)に、会員・役員23名が参加し、センター周辺、築地跡公園の落ち葉掃き、阪急西向日駅周辺のゴミ拾いを実施し、美化に努めました。

竹ぼうきとゴミ袋を手に、赤や黄色に染まった落ち葉をはじめ、空き缶やタバコの吸い殻などを1時間かけてゴミ袋25袋程収集しました。

1時間では足りないくらい皆さん熱心に活動していただきました。

ご協力ありがとうございました。



↑事務所周辺の落ち葉清掃を行う会員の皆さん



↑西向日駅周辺のゴミ拾いを行いました

刈払機講習会

12月6日、朝堂院西方官衙にて、京都府農業機械士協議会から農業機械士3名をお招きし、刈払機の安全講習会を開催し、会員9名が受講しました。

この講習会は、全国の賠償保険事故で最も多いのが、除草、草刈り業務であることから、安全就業対策の一環として、「刈払機の安全な使い方について」というテーマで事故の未然防止を目的に開催したものです。

今回は、刈払機の使い方の基礎や、機械の構造についても詳しく説明していただきました。

刈払機講習会を受講して

上植野町 森本 里司



今回は、京都府農業機械士協議会の方々より刈払機の安全な使い方について受講させて頂きました。まず、

刈払機による事故の実態、その原因と予防策、刈払機本体の構造とその取扱いについて順次説明がありました。飛散物により失明された方や誤った使用で死亡された方などの話を聞かされた後、今まで安全面など殆ど気に留めず我流でやっていた自分を振り返ると冷や汗が出る思いでした。

これからも除草作業で使用するにあたり、今回学んだ刈払機の特徴をよく理解し、それを活用することで無事故を目指していきたいと思えます。



↑使用前の点検ポイントの説明を受ける参加者の皆さん

京都府・向日市への支援要請

9月27日(水)、当センターの嶋田理事長、柴崎事務局長が向日市役所を訪問し、令和5年度全国シルバー人材センター事業協会・定時総会の決議に基づき「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」を安田市長に手渡し、センターへの支援をお願いしました。

また、10月13日(金)には、仲島京都府シルバー連合会会長、乙訓2市1町の各センター理事長が京都府庁を訪問し、西脇京都府知事へ要望活動を実施しました。



↑京都府庁を訪れた仲島府連合会会長(右から2人目)と乙訓の各センター理事長(左が嶋田理事長) ↑安田市長に要望書を手渡す嶋田理事長

【要望内容】

- ①国の補助金と同額以上の補助金の確保
- ②センターに対する公共からの事業発注の確保
- ③インボイス制度導入に対して、安定的な事業運営が可能になるよう経営基盤の強化につながる措置

安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会では、昨年の夏期に実施しました安全パトロールにおいて、チェックポイントを業務別にまとめました。今後の安全就業の参考にしていただきますようお願いいたします。

また、近年の温暖化による熱中症の予防にも力を入れています。会員の皆様には、引き続き安全就業に努めていただきますようお願いいたします。

分別収集指導業務

■寺戸町(蔵ノ町高架下公園前ほか)

●近隣の分別ステーションが廃止されたことと、第5週がある月で3週間ぶりの回収であったため、前日出しが多く、持ってこられる人も多いため処理が追い付いていなかった。箇所によっては、応援が必要と思われる。



↑前日出しゴミの状況など収集ステーションをパトロールしました

●ペットボトルのフィルムを剥がしたりするため手袋をされていなかった。安全のため手袋をつけて作業するのが良い。

●寺田西公園西側入口前では、大型のマンションが近くにあり、大量に持ってこられるので、マンション内で処理できるとよい。シルバーのベストをつけることが望ましいと思われる。軍手はされていたが、暑い時期でゴム手袋は大変かと思うが、安全の為にゴム手袋が望ましいと思われる。

交通指導業務

■第4向陽小学校区

●丁字路で、右左折で侵入してくる車も多かったが、早めの対応ができていた。自転車の方も車



↑車が多い場所も児童達が安全に渡れるよう見守りをしています

を止められていたが、自転車については、あまり早くに車を止めるのはトラブル防止のためにも控えた方が良くと思う。

除草業務・除草剤散布業務

- 公園内の作業であったが、通行人が多くあり、「草刈り作業中」のような看板を用意して、注意喚起すると良い。

- 草刈り機使用中、防護マスクを使用されていたが、帽子を被っていないだったので、頭部の保護のためにも着帽するのが望ましい。あと、草刈り機使用中に素手で作業されていたが、滑り止め付の手袋などで作業した方が安全である。草の状態を考慮して回転数を変えられていたのは良かった。

- 除草剤の散布作業は、風上に立って作業され、2人の距離も離れており、安全であった。炎天下の作業であったが、薬剤散布作業時には、マスクを着用した方がよい。



↑ 植木の剪定など脚立を使用する作業は、特に注意が必要です

植木剪定業務

個人宅

- 比較的低い位置で作業されていたが、安全のためヘルメットの着用が望ましい。機具等の使用については、特に問題は見受けられなかった。
- 塀の上で作業していたが落下の危険があり、反対側から三脚を設置して作業するなどの対策が必要な現場であった。腰につけていたハサミ入りが裂けており、取り替える必要がある。

事故報告

令和5年7月から12月に発生した事故は以下のとおりです。

連合会・安全パトロール

昨年11月9日に、京都府南部の安全就業パトロールとして、大山崎町の夏目新第二浄水場内の植木剪定業務及び除草業務を視察しました。

浄水場の敷地内で車を動かす際には事前に声掛けをしたり、刈払機による作業では、フェンスにネットを掛けて飛石をガードするなど事故防止に努めておられました。粗いネットを使用する際は、2枚重ねで防護するようにしたところ、飛び石事故が減ったそうです。

当シルバーでも飛び石事故が多発して以来、石飛のしにくい刃を使い始め、年々飛び石事故も減っています。今後も刈払機講習会等を活用し、安全就業に努めてまいります。

- 就業後、敷地内の駐輪場からバイクで走行したところ、砂利でタイヤが滑りバイクごと転倒。肋骨にヒビ。(68歳 男性)

- 走行中、民家のフェンスにトラック荷台の突起部分が接触しフェンスを破損。(67歳 男性)
- 就業先の駐車スペースに停車する際、アクセル操作を誤り建物壁に衝突し建物に設置された配管を破損。救急車で搬送。耳に切り傷。(75歳 男性)

- パネルを運搬中、エレベーター内でパネルの脚が倒れ、壁面の表示板を破損。(67歳 男性)
- バイクで就業途中、交差点で右折してきたトラックと衝突。救急車で搬送。ひざに裂傷(81歳 男性)



↑ 大山崎町シルバー人材センターの剪定作業現場を視察する京都府連合の安全委員の皆様

普通救命講習会

11月7日(火)向日消防署において、普通救命講習会(心肺蘇生、AED使用等応急処置講習)を開催しました。向日消防署救急隊2名により指導していただき会員7名、職員5名が受講しました。今回は、「普通救命講習会1」として、DVD視聴により、救命技能の大切さを学んだあと、2グループにわかれ、心肺蘇生法、人形を使つての心肺蘇生の手順説明、AED使用手順の説明を受け、実技訓練を受けました。

講習終了後には、普通救命講習修了証が交付されました。今後も、一人でも多く救命技能の習得ができるよう、定期的に普通救命講習を開催してまいります。

普通救命講習を受講して

寺戸町 窪田 博



先日、向日市消防署にて「普通救命講習」を受講してきました。私自身の理解度の確認と、一人でも多くの会員の方にこの講習のを知っていただきたいと思い投稿させていただきました。

今回、私が受講したのは「普通救命講習」という講習です。この講習は私のような知識のない初心者向けの3時間コースでしたが、十分に技術を身につけることが出来たと感じさせるものでした。



↑人形を使って心肺蘇生の実技訓練を行いました

私がこの講習を受講しようと思ったきっかけはシルバーの職員の勧めと、私自身が公共施設などで見かける「AED」に興味があったからです。講習は座学と実技で構成され応急手当として「心肺蘇生・AEDの使用法、異物除去法、止血法」を教わりました。指導担当は向日消防署救急隊員のお二人でした。さすが救急隊員の方で若くてキビキビしていて羨望の眼差しで拝聴させていただきました。質問に対しても丁寧で何より現場経験者の方の回答は説得力があると感じました。

応急手当の実技では「胸骨圧迫」と「AED」の使用を体験しました。二組に分かれたグループ全員が交代で担当するので人の作業を見て学ぶことが多く習熟度のアップが感じられました。心肺停止から3分経過して18分までが救命のチャンスで119番通報してから救急車が到着するまで10分以上かかるこの事で発見者の対応が大事になる

と感じました。講習では通行人が対象でしたが、いつ同居家族に起こるかもしれないアクシデント。その時に自分が何をしなければならぬのかの回答を「普通救命講習」で学ぶことが出来ました。この講習を受講したことに大変満足しており、是非とも多くの会員の方に知っていただきたいと思っております。

生活支援講習会

昨年10月16日から17日の2日間、株式会社ニチイ学館より 中島周子先生を迎え、向日市民体育館で「生活支援講習会」を開催しました。

この講習会は、高齢者活躍人材確保育成事業の一環といたしまして、京都府のシルバー人材センター連合会と共同で開催したもので、会員と市民ら10名が受講しました。

講習会1日目の「接遇マナー」は、訪問時の挨拶、お客様との関わり方を学び、また午後の「認知症の理解」については、認知症の方への接し方を中島先生の実体験をもとに分かりやすく説明していただきました。

2日目は、高齢者の心身状況の理解等、介護の基本を学びました。皆さん熱心に話を聞かれ質問される方も多くあつという間の2日間でした。当センターでは、平成29年度から、高齢者等の居宅におきまして、掃除、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活支援について、向日市と「地域支え合いヘルプサービス事業」の業務委託契約を結んでおり、当センターも福祉の担い手として期待されています。

生活支援講習会を受講して

物集女町 藤田 進



今回のテーマは、要支援者への生活支援ということでしたが現場の大変さや苦勞など、もう少し深くその内情に立ち入ったお話を聞きたかったと思います。現今、少子化に伴う人手不足によって高齢者による老々介護の家庭が年々増加し、生活苦に原因する殺人、一家心中が増加している。

この社会情勢を受けシルバー人材センターにおいても今後この様なセミナーをどしどし取り上げて社会啓発をおこなってほしいと願ってやみません。先生の講義は楽しく明るく分かりやすく、良い講師だと思いました。今後とも私達シルバーの能力開発のためになるセミナーを開催してほしいと思っております。よろしくお願ひします。



↑ 認知症の理解や家事援助の基礎知識を学びました

シニアのためのパソコン講座

10月24日、永守重信市民会館にて、モリスビジネス学院講師青野久美子先生をお招きし、「シニアのためのパソコン教室」を開催し、会員、市民40名が受講しました。2時間という短い時間でしたが、Wordの基本操作、インターネット活用について学びました。Wordでは、クリスマスカード作りに挑戦し、最初はとまどいながらの操作でしたが、皆さん好きなデザインを選び素敵なクリスマスツリーを完成させました。

《受講者の感想》

- 最近ではスマホの使用が多いため、パソコンにも触る機会をつくりたいと思いました。
- 大変丁寧に説明して頂き何とかついていけました。ワードの基本がわかりました。
- ワード、挿入画像の編集を含め丁寧に学べて良かった。
- ゆっくりと話していただき良く理解出来ました。日々の生活にパソコンを活用し色々な情報を取り入れ、充実した生活を送りたいと思います。
- 次回はエクセルを使用して表計算にも挑戦したいです。
- 10年前を思い出し、再度パソコン画面に向かいたいと思います。機会をいただきありがとうございます。
- 今まで自己流で使っていたので、知らないことが多く勉強になりました。
- パソコンのキーの使い方、基本が分かりやすかった。デジタル社会です。もっともっと進んで

いくと思います。出来ないでは進めないのので、つずつ勉強していきたいです。



↑ Wordの基本操作を学びクリスマスカードを作成しました





↑ 高齢者世帯を訪問し台所等の家内の掃除を行いました

昨年12月から向日市社会福祉協議会と協力して「歳末おかたづけ応援隊」事業を行いました。この事業は80歳以上の要介護・要支援等の認定を受けていない一人暮らしの高齢者の生活の自立

歳末おかたづけ応援隊



と安定を図るため、「おかたづけ等」をサポートする事業で、家具移動や衣類の整理、家内の掃除などを行いました。今年度は支援の対象者が変わり、12月から来年の3月まで支援に入りますが12月だけで19件の依頼があり、15名の会員が応援隊として従事しました。

利用者からは「寒い中ありがとうございます」「足腰が悪いので高い場所の掃除が出来てなかったのが助かりました」などの声をいただいております。

健康講座

8月25日、向日市民体育館にて、洛和会京都健康センターから健康運動指導士2名をお招きし、

パソコン教室に参加して

物集女町 三浦 初実



初めて、パソコン教室に参加しました。普段、パソコンにさわる機会もなかったのですが、シルバー人材に登録したばかりで何か挑戦しないと思いついて受講しました。初心者の中でも分かりやすく丁寧に指導

を受け、文字の変換や文書作成に挑戦することができました。クリスマスカード作成では、ツリーの飾りを自分で考えながら仕上げるところは楽しく作業に集中できました。覚えたことを忘れてしまうことが多くなかなか前進しませんが、今回受講した経験が少しでも生かせるよう、機会があればまた挑戦したいと思えます。

《受講者の感想》

- 「健康講座」を開催し、会員、職員20名が受講しました。
- この講習会は、現代社会の食生活において、健康寿命を延ばすために「いつ、何を、どのように食べるか」を知り、「時間栄養学」の観点に基づく健康維持のための知識を教わりました。
- 今までも食事に気をつけていたつもりだったが、今後力ロリーとかも気にして腹八分目にしたと思います。
- 以前と同じ食事、時間帯も同じなのに最近肥満気味。季節がよくなれば外出の機会も増やせるようにして体調管理していきたいと思えます。
- 体内時計を整えることにより、生活習慣病も防げることを知りました。
- 生活習慣の大切さを改めて実感しました。
- 間食が多いので気をつけるようにしようと思えます。



↑ Inbody 測定器で筋肉量・タンパク質・体脂肪等測定しました

会員研修親睦旅行

●今まで聞いてきた「何をどのくらい…」ではなく、「いつ」「どこ」のように「食べる」と良いかといった「時間栄養学」を学べたのは参考になりました。

11月23日(祝)に約4年ぶりとなる会員親睦旅行に行ってきました。

会員、役職員の計35名が参加し、愛知県知多半島へ日帰りバス旅行を楽しみました。かねふく・めんたいパークで工場見学の後、師崎・活魚の美舟で昼食をいただきました。帰りは網元直売魚太郎本店でお買い物しました。日帰りでしたが久しぶりの旅行ということでも充実した時間を過ごしました。



寺戸町 平林 勇夫

会員研修親睦旅行に参加して

晴天に恵まれ、4年ぶりの会員研修親睦旅行が無事に終わり、大変良かったと思います。日頃、シルバー

内でお会いできない方々と一緒に楽しい一日ありがとうございました。昼食、カラオケ、買い物等又初めての愛知県知多半島のバス旅行おもいでになります。来年もお元気で一緒に出来ることを楽しみに頑張ります。役員の皆様ありがとうございました。

した。実践できそうなこともあったので是非学んだことを取り入れていきたいと思っています。

初めて参加して



物集女町 土川 栄治

初めての参加でした。皆さん、バスの中では楽しそうにおしゃべりし、カラオケではそれぞれ好きな歌を歌い、豪華な食事に舌鼓を打つなど過ごしていました。また、参加してみたいと思います。



親睦旅行を終えて

寺戸町 牧野 實



4年振りの親睦旅行で愛知県知多半島に行ってきました。久しぶりのバス旅行で楽しみにしていました。

今回の旅行で印象に残ったことは、車中でのガイドさんの話です。向日市の誕生や、歴史上の皇族(桓武天皇)にまつわる成り行きなど詳しく話され、初めて知ることも多く、住人として勉強したこともなく恥ずかしく感じるありさまでした。長時間の車中もあまり苦にならずに済みました。宴会も盛り上がりとても楽しい旅行でした。

旅行に参加された皆様、ありがとうございました。来年も楽しい旅行を企画する予定です。今回参加できなかった方は、ぜひ来年は参加をお待ちしています。(事務局)



↑めんたいパークとこなめでお買い物をしました



↑美味しい料理に会話も弾みました



↑昼食後、帰路のバスに乗り込む参加者の皆様



「オオワシ」

寺戸町 北川 新造



「湖東三山 百済寺」

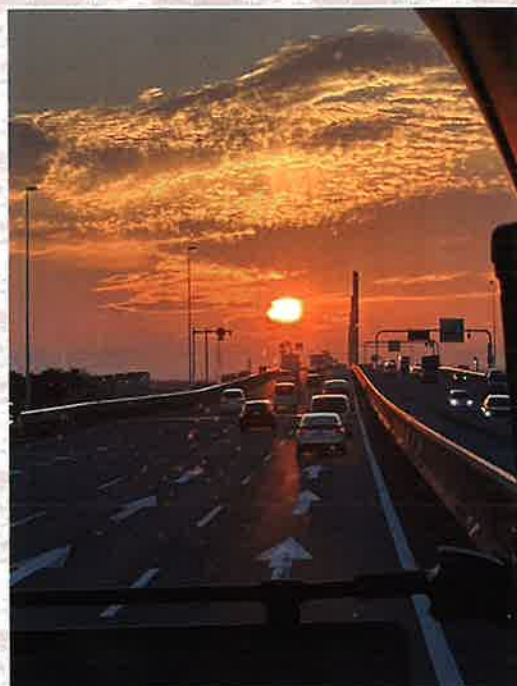
上植野町 末元 修次



「スイスイ泳ぐ金魚たち」

向日町 森 栄治

私の撮っておきの一枚



「親睦旅行帰りの夕日」

事務局 柴崎 重信



「故郷」

寺戸町 山崎 雅江

会員の広場

「桜」

上植野町 平 託治



僕の好きな花のひとつに桜の花があります。

桜は2月に沖縄で開花し（ソメイヨシノとは別種）桜前線が北上を始めます。

関西には3月末か4月の初め頃をやってきます。桜が咲けば菜の花や色々な花が咲き、春が来たと感じ心ウキウキする季節です。

桜の花は開花して一週間後に満開。その一週間後は散ってしまふ可憐な花で、その可憐さゆえに辞世の句とかによく詠まれています。

江戸時代の高僧良寛和尚は「散る桜 残る桜も散る桜」と詠み少年兵が特攻隊で出撃する時に残した句が「散桜 残る桜 見事咲け」でした。又、面白い句では「娘十七、八 桜にもたれ どちらが花やら娘やら」とか「吉野の花(桜)も散れば汚い」と詠んだ人もいます。昭和30年代には「桜散る」「桜咲く」が

一時流行語となりました。昭和30年代に入り生活も豊かになって田舎の学生もこぞって都会の大学を受験する様になりました。大学発表を見に行った本人が、田舎で待つ親や先生に合・否を早く知らせたい。しかし30年代は通信網が発達してなく、その日に知らせる唯一の手段が電報でした。田舎には電電公社の囑託の配達員がいて、どんな山奥のポツンと一軒屋でも必ずその日の内に電報ですと云って配達してくれました。しかし、早くて便利な反面、料金が高く一文字なんぼでした。そこで、文字数を少なくして確実に知らせる言葉として用いられたのが、合格であれば「サクラサク」不合格だと「サクラチル」でした。どちらも5文字で知らせることができず。電報を受け取った親や先生も「サクラサク」だとあの子の努力が報いられたと安心し「サクラチル」を受け取った方はあの子も努力したのにとガツカリ。帰ってくればどのようか慰めてやるか考えてことでしょう。今年も桜前線がまもなくやってきます。今年はこの桜の木の下で友とビールを飲みながら花見をするのか今から楽しみにしています。

事務局だより

新しく仲間入りしたみなさん
(地域別、令和5年8月〜12月入会順)

物集女

寺戸

- 小柳 三浦 初政 三浦 康 進 実
- 大藤 島田 富士 大藤 康 進 実
- 木谷 元 富士 木谷 元 富士 進 実
- 寺本 谷 富士 寺本 谷 富士 進 実
- 山本 喜道 山本 喜道 進 実
- 柳川 則喜 柳川 則喜 進 実
- 原田 公則 原田 公則 進 実
- 佐藤 道子 佐藤 道子 進 実
- 村上 尚三 村上 尚三 進 実
- 井上 昌三 井上 昌三 進 実
- 山口 博シ 山口 博シ 進 実
- 早津 博子 早津 博子 進 実
- 赤木 政之 赤木 政之 進 実
- 森本 直克 森本 直克 進 実
- 鷄冠井 順子 鷄冠井 順子 進 実
- 上植野 順子 上植野 順子 進 実
- 馬場 知子 馬場 知子 進 実
- 山田 正子 山田 正子 進 実
- 藤田 智子 藤田 智子 進 実

おくやみ

- 森本町 村上 等
- 竹中 増産

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

配分金の改定予定について
(令和6年4月から)

昨年10月から、京都府の最低賃金が968円から1,008円に改定されました。

最低賃金は、会員の配分金には適用されませんが、当センターでは京都府の最低賃金を考慮し、また、発注者様のご理解を得る中で、会員の皆様への配分金最低単価を令和6年4月から増額する予定で進めています。(現行970円)

今後も、会員の皆様の就労条件の向上に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。

令和6年度年会費について

令和6年度年会費は年度が変わる4月1日に発生します。退会をお考えの方は、3月末までに事務局へお申し出の上、所定の退会手続きをしてください。4月以降の退会お申し出には1年分の会費支払いが必要となりますのでご了承ください。

なお、継続会員の方には、5月頃に年会費納入の案内を送付させていただきます。ご了承ください。

事務局だより

人権研修のご案内

京都府シルバー人材センター連合会主催の「令和5年度人権研修」が開催されます。

- 日時 令和6年2月21日(水)
14:00~15:30
- 場所 京都テレサ(東館2階セミナー室)
京都市南区東九条下殿田70
- 対象者 各シルバー人材センターの役職員
及び会員
- テーマ 「このまちが好きだから」
～被差別の歴史をもつ地域に生まれて～
- 講師 崇仁発信実行委員会代表 藤井 まさよ

会員の就業相談

会員になったが就業の機会が少ない方のために、就業相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ◆日程…毎月第3水曜日
- ◆時間…午後2時～5時の間
- ◆場所…センター事務所

履行確認書は速やかに提出箱へ

業務別に提出していただくように、引き出し付の箱を用意しております。確認書提出の際には、記入間違いや漏れのないようにしてください。就業後は速やかに提出いただきますよう、ご協力をお願いします。

今後の行事予定

- ◆「高齢者のパソコン教室」 2月予定
 - 60歳以上の市民及び会員で希望者を対象に開催します。
- ◆「交通指導業務講習会」 2月予定
- ◆「交通安全講習会」 3月予定
- ◆「保険事故から見た安全対策セミナー」 3月予定

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

- 対象となる方
向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方
- ※入会申込みは、随時受け付けしています。
詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。

〈紹介キャンペーン〉

ご紹介いただいたお友達、お知り合いの方が、3月末までにご入会頂きましたら、ご入会頂いた方とご紹介いただいた会員の方へステンレスボトルをプレゼントいたします。



あとかぎ

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、令和6年のお正月をどのようにお迎えでしょうか。

昨年11月23日に会員親睦旅行を開催し、会員の皆様30名と愛知県知多半島に行ってきました。

4年ぶりに無事開催できたことはシルバーにとって大きな喜びです。コロナ禍がようやく落ち着き、社会も活気を取り戻してきました。

しかしながら、世界的にはロシアのウクライナ侵攻も終わりが見えず、またイスラエル・パレスチナ情勢など、国際情勢の不安定化が私たちの社会生活にも少なからず影響を及ぼしています。また、気候変動による自然災害も懸念されます。さて、令和6年はどんな一年になるのでしょうか。

年末にうれしいニュースが入ってきました。アメリカ大リーグの大谷選手がドジャースと10年、10000億円というとてもない契約金で契約しました。昨年はWBCでの優勝から、日本人で初めてのホームラン王と大活躍でした。大谷選手の全力プレーは、今年もきっと私たちの心を躍らせてくれることでしょう。今年も会員の皆様と共に健康に留意して元気で頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしく申し上げます。

事務局長 柴重信
 業務係長 大嶋英夫
 業務係 中村幹雄
 片岡法康
 上田奈津子
 庶務係 木下恵美子